

鳥栖市投げ込み資料

平成 30 年 3 月 1 日

報道機関各位

鳥栖市総合政策課長 鹿毛 晃之

300 人に聞きました！「鳥栖市転入者アンケート」について

市では、昨年 11 月から「鳥栖市転入者アンケート」を実施しており、本年 2 月末までに約 300 人の方に調査にご協力いただきましたので、中間結果としてお知らせします。

鳥栖市転入者アンケートは、本市における社会動態の背景をより具体的に把握し、調査結果を蓄積していくことによって、今後も人口増加が推計されている本市の魅力を高め、さらなる定住人口獲得に向けた政策形成に活かしていくことを目的としています。

本年 2 月末時点で 323 名（世帯）の方に調査にご協力いただき、回答結果から把握できた本市への移住者の総数は 562 名（うち、県内から 129 名、県外等から 433 名）となっております。市では、今後もアンケート調査を継続し、「これからも、選ばれつづける鳥栖シティ！」に向けて取り組んでまいります。

記

資料 300 人に聞きました！鳥栖市転入者アンケート（中間報告）

（担当） 総合政策課 まち・ひと・しごと創生推進室 有馬

TEL 0942-85-3511

鳥栖市転入者アンケート

(中間報告)

300人に聞きました!



実施期間 平成29年11月1日～平成30年2月28日
回答者数 323件 (世帯)

TOSU CITY
Your New HomeTown!

平成30年3月1日

鳥栖市 企画政策部 総合政策課 まち・ひと・しごと創生推進室

鳥栖市転入者アンケートの実施について

鳥栖市 企画政策部 総合政策課 まち・ひと・しごと創生推進室

1. 目的

本市の総人口は、転入超過による社会増によって増加を続けているが、本市への転入理由については、転入者の年代など統計上の数値から類推している状況に留まっている。そのため、転入者に転入理由などを直接質問するアンケートを行うことで、本市における**社会動態の背景をより現実的に把握**し、調査結果を蓄積していくことによって、本市の社会動態における**強みや弱みの明確化**を図り、**さらなる定住人口獲得に向けた政策形成**に繋げていくことを目的とする。

2. 実施内容

転入者が市民課窓口に住居異動届を提出する際にアンケート用紙を渡して協力を依頼する。転入者には手続きの待ち時間中にアンケートにご回答いただき、回収ボックスにアンケート用紙を投函する。

アンケートの集計結果については、鳥栖市まち・ひと・しごと創生本部会議、鳥栖市まち・ひと・しごと創生有識者会議等において公表し、“鳥栖発”創生総合戦略の推進および定住人口獲得施策を検討していく上での基礎データとする。

3. 開始時期

平成29年11月1日～（※今後も継続予定）

4. 参考

平成28年度の1日あたり転入届出件数 **平均10.9件**

H28	転入届出件数	開庁日 (平日のみ)	1日あたり 転入届出件数
4月	404	20	20.2
5月	224	19	11.8
6月	174	22	7.9
7月	198	20	9.9
8月	185	22	8.4
9月	182	20	9.1
10月	226	20	11.3
11月	158	20	7.9
12月	135	19	7.1
1月	134	19	7.1
2月	160	20	8.0
3月	475	22	21.6
合計	2,655	243	10.9

転入者アンケートにご協力ください

鳥栖市にお住まいいただきありがとうございます。鳥栖市では転入される方にアンケートを行い、今後の人口増加施策に役立てたいと考えています。いただいた回答は統計的に処理し、市の移住推進の取組以外では使用いたしません。アンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。



鳥栖市イメージキャラクター・とっちゃん

問 1. 世帯主の方の性別

1. 男 2. 女

問 2. 世帯主の方の年齢

1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代
5. 50代 6. 60代以上

問 3. 家族構成

1. 一人世帯 ➡ 問5へ 2. 夫婦のみ ➡ 問5へ 3. 夫婦と子ども
4. 三世同居 5. その他 ()

問 4. 世帯内のお子さまの人数（カッコ内に人数をお書きください）

1. 未就学児 ()人 2. 小学生 ()人 3. 中学生 ()人
4. 高校生 ()人 5. 18歳以上 ()人

問 5. 転入前のご住所はどちらですか？

- 都道府県名 () 都道府県
市区町村名 () 【記入例】福岡市中央区、筑紫野市

問 6. 勤務地または通学先はどちらですか？

1. 鳥栖市内 2. 鳥栖市外 ➡ 市区町村名 ()
【記入例】福岡市博多区、久留米市

問 7. 転入された一番の理由は何ですか？（最も近いものを1つ選んでください）

1. 転勤 2. 就職・転職 3. 結婚 4. 進学 5. 住宅の購入
6. 子どもの都合 7. 条件の良い物件への住み替え 8. 親と同居するため
9. Uターン 10. その他 ()

問 8. 鳥栖市を選んだ理由は何ですか？（あてはまるものすべて選んでください）

1. 通勤・通学が便利 2. 仕事・通学の都合上 3. 住環境が良い
4. 気に入った物件があった 5. まちのイメージが良い 6. 買い物が便利
7. 子育て環境が良い 8. 教育環境が良い 9. まちに将来性がある
10. サガン鳥栖が好き 11. 地縁や血縁 12. その他 ()

問9. 鳥栖市以外に転居先の候補地はありましたか？

1. なかった ➡ 問10へ

2. あった

市区町村名 () 【記入例】 福岡市南区、小郡市

問10. 鳥栖市では移住の取組を推進しています。移住者インタビューなどの取材を「受けてもよい」と思われる方は、ご連絡先をお教えてください。

わたしが鳥栖を選んだ理由。
移住者インタビュー Vol.1

山田裕子さん(39歳、専業主婦)

居住時期 2008年
勤務地 鳥栖市
家族構成 夫・長女・長女

仕事と子育て、いいタイミングでした

一鳥栖市へ移り住まれたきっかけを教えてください

職場が福岡市内のため、社内にあってからは福岡市内に住み、通勤を兼ねて1年ほど前から会社寮に住んでいました。3年前、主人が鳥栖市と鳥栖市を移住先とするような仕事をしていて、ちょうど鳥栖市での仕事が増え、大きくなってきてきました。そのために、知り合いの福岡の住居を勧められてもらった縁もあり、鳥栖に移り住むことになりました。長女を妊娠していた頃でした。

結婚して福岡市に住んでいたころは、通勤バスで毎日片道2時間ほどかけて通勤していました。夫婦二人の頃は、それで何とやっていましたのですが、子どもができたら今の仕事を続けるのが困難なように感じていました。

そんなときに、鳥栖市に住むことになったため、すくなくいいタイミングだったと思います。

一福岡市内への通勤はいいですか？

徒歩駅まで徒歩7分、自宅から職場まで1時間以内で通勤できています。通勤時間は以前の半分になりました。福岡市内に住んでいたころは、交通の便があまりいいとこ

ノンストレスで「ちょうどいい」街

一実際に暮らし始めて、感じる鳥栖の魅力は

私にとって「ノンストレスな街」だと感じました。通勤・子育てで働く・生活と、すべてがちょうどいい。むしろ、働きやすい環境を感じます。

近所には同じ子育て世代の方が多く、子どもは友達も多く、小学校も近く、公園や児童館もあり、子育てにはすくなくいい環境だと思います。車で近場に行ける場所も多いので、ちょっとしたお出かけも満足感が広がります。

一鳥栖市への移住を検討されている方へのメッセージをお願いします

交通の便もいいし、子どもも安心して育てられる環境でも、他府県から移住してきています。近所にも同じ子育て世代が多いので、暮らしやすくて子育てしていることが感じられると思います。

お名前	
ご住所	鳥栖市
お電話番号	() -

ご記入いただいた個人情報は、厳重に管理し鳥栖市への移住推進に関する業務以外に使用いたしません。

鳥栖市ウェルカムガイド「移住者インタビュー」

ご協力ありがとうございました。



平成29年度 鳥栖市転入者アンケート 中間報告 [H29.11.1~H30.2.28]

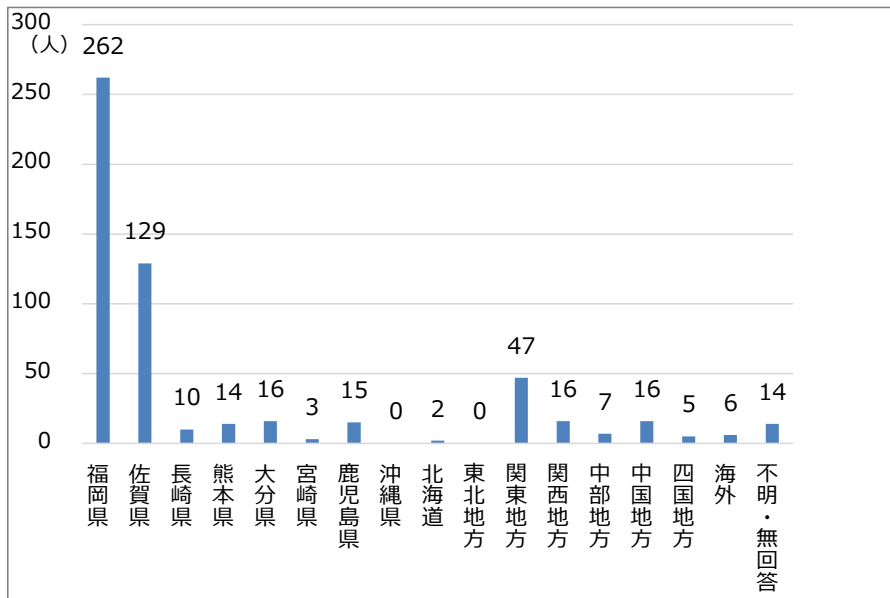
鳥栖市 企画政策部 総合政策課 まち・ひと・しごと創生推進室

■回答件数 323件（世帯）

■転入者数 562人

（うち、県内からの移住者129人 県外などからの移住者433人）

■転入者562人の前住所地（九州内県別・全国ブロック別）



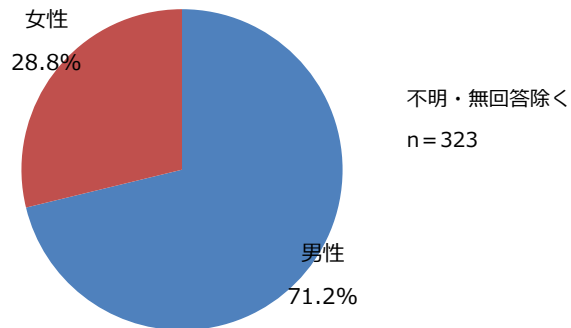
■転入者562人の前住所地（県別）

順位	前住所地	人数	比率
1	北海道	2	0.4%
2	茨城県	1	0.2%
3	栃木県	4	0.7%
4	埼玉県	11	2.0%
5	千葉県	3	0.5%
6	東京都	17	3.0%
7	神奈川県	11	2.0%
8	富山県	1	0.2%
9	山梨県	2	0.4%
10	愛知県	4	0.7%
11	三重県	2	0.4%
12	大阪府	5	0.9%
13	兵庫県	7	1.2%
14	奈良県	2	0.4%
15	島根県	1	0.2%
16	岡山県	1	0.2%
17	広島県	11	2.0%
18	山口県	3	0.5%
19	愛媛県	1	0.2%
20	高知県	4	0.7%
21	福岡県	262	46.6%
22	佐賀県	129	23.0%
23	長崎県	10	1.8%
24	熊本県	14	2.5%
25	大分県	16	2.8%
26	宮崎県	3	0.5%
27	鹿児島県	15	2.7%
28	海外	6	1.1%
29	不明・無回答(人)	14	2.5%
移住者数（人）		562	

問 1.世帯主の性別

		回答数	比率
1	男性	230	71.2%
2	女性	93	28.8%
a	有効回答者数(人)	323	
b	不明・無回答(人)	0	
回答者数(人) a + b		323	

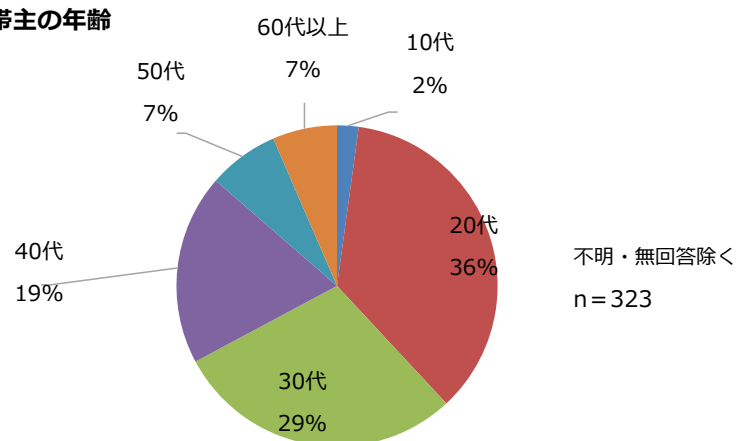
問 1 世帯主の性別



問 2.世帯主の年齢

		回答数	比率
1	10代	7	2.2%
2	20代	116	35.9%
3	30代	94	29.1%
4	40代	62	19.2%
5	50代	23	7.1%
6	60代以上	21	6.5%
a	有効回答者数(人)	323	
b	不明・無回答(人)	0	
回答者数(人) a + b		323	

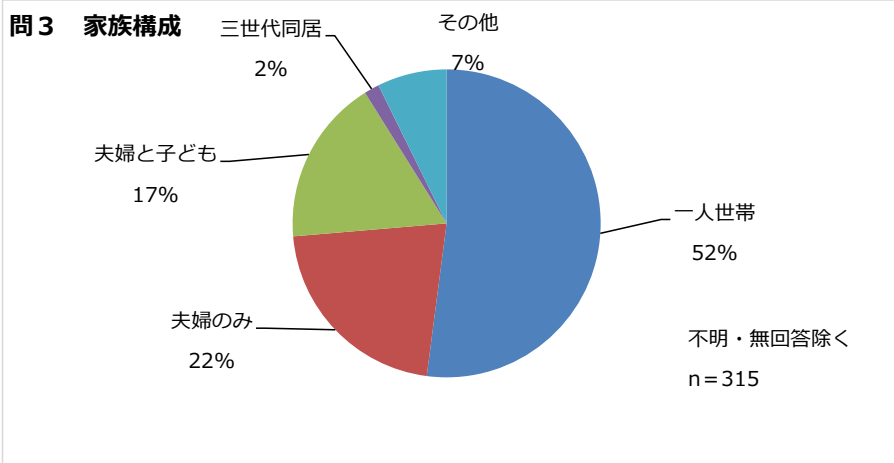
問 2 世帯主の年齢



若年世代は、就職、転職、結婚、出産、住宅取得などライフイベントが多いこともあり、20代、30代だけで全体の7割近くを占めている。

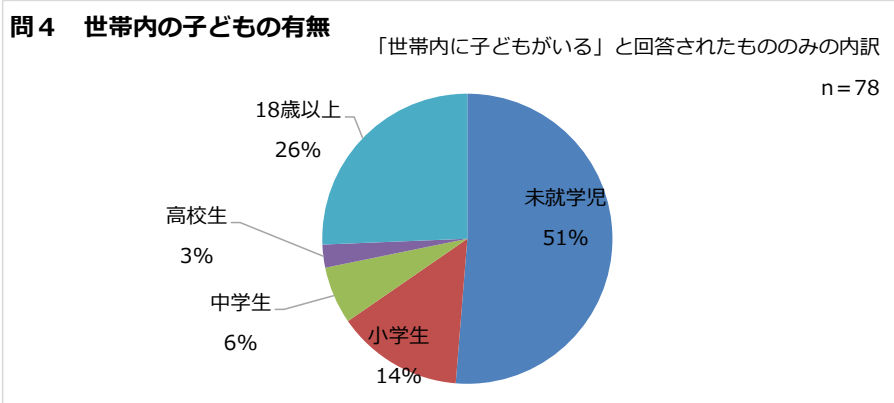
問3.家族構成

	回答数	比率
1 一人世帯	164	52.1%
2 夫婦のみ	68	21.6%
3 夫婦と子ども	55	17.5%
4 三世帯同居	5	1.6%
5 その他	23	7.3%
a 有効回答者数(人)	315	
b 不明・無回答(人)	8	
回答者数(人) a + b	323	



問4.世帯内の子どもの有無

	回答数	比率
1 未就学児	40	8.6%
2 小学生	11	2.4%
3 中学生	5	1.1%
4 高校生	2	0.4%
5 18歳以上	20	4.3%
6 子供なし	394	84.4%
a 有効回答者数(人)	467	
b 不明・無回答(人)	5	
回答者数(人) a + b	472	

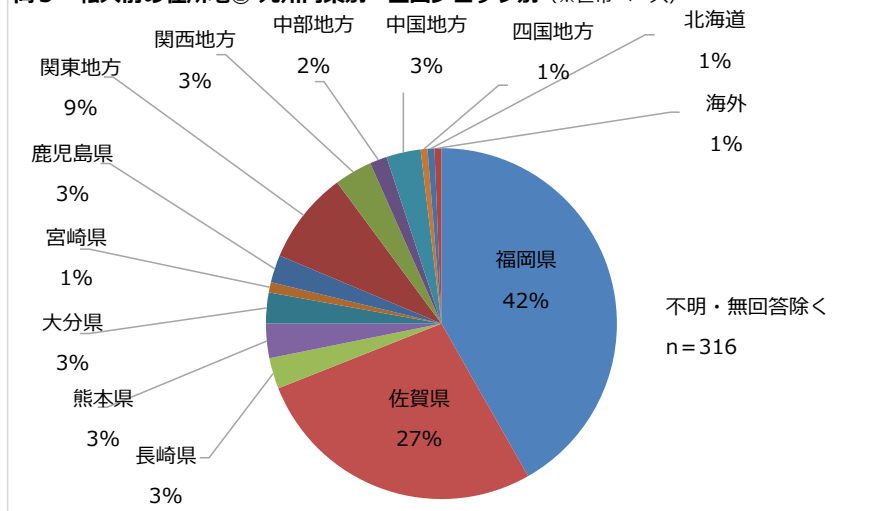


「家族構成」については、世帯当たり人数が減少を続けていることを裏付けるように、一人世帯だけで半数以上を占めている。「世帯内の子どもの有無」については、子どもがいる世帯の場合は未就学児や小学生などの低年齢層の子どもの割合が高く、子どもの年齢と居住地変更の間には一定の関連性があると考えられる。

問5 転入前の住所地①（都道府県）※世帯ベース

	回答数	比率
1	2	0.6%
2	0	0.0%
3	0	0.0%
4	0	0.0%
5	0	0.0%
6	0	0.0%
7	0	0.0%
8	1	0.3%
9	2	0.6%
10	0	0.0%
11	6	1.9%
12	2	0.6%
13	10	3.2%
14	6	1.9%
15	0	0.0%
16	1	0.3%
17	0	0.0%
18	0	0.0%
19	1	0.3%
20	0	0.0%
21	0	0.0%
22	0	0.0%
23	3	0.9%
24	1	0.3%
25	0	0.0%
26	0	0.0%
27	3	0.9%
28	5	1.6%
29	2	0.6%
30	0	0.0%
31	0	0.0%
32	1	0.3%
33	1	0.3%
34	6	1.9%
35	2	0.6%
36	0	0.0%
37	0	0.0%
38	1	0.3%
39	1	0.3%
40	132	41.8%
41	86	27.2%
42	9	2.8%
43	10	3.2%
44	9	2.8%
45	3	0.9%
46	8	2.5%
47	0	0.0%
48	2	0.6%
a	有効回答者数(人)	316
b	不明・無回答(人)	7
回答者数(人) a + b		323

問5 転入前の住所地① 九州内県別・全国ブロック別（※世帯ベース）



問5. 転入前の住所地②（市区町村）※世帯ベース

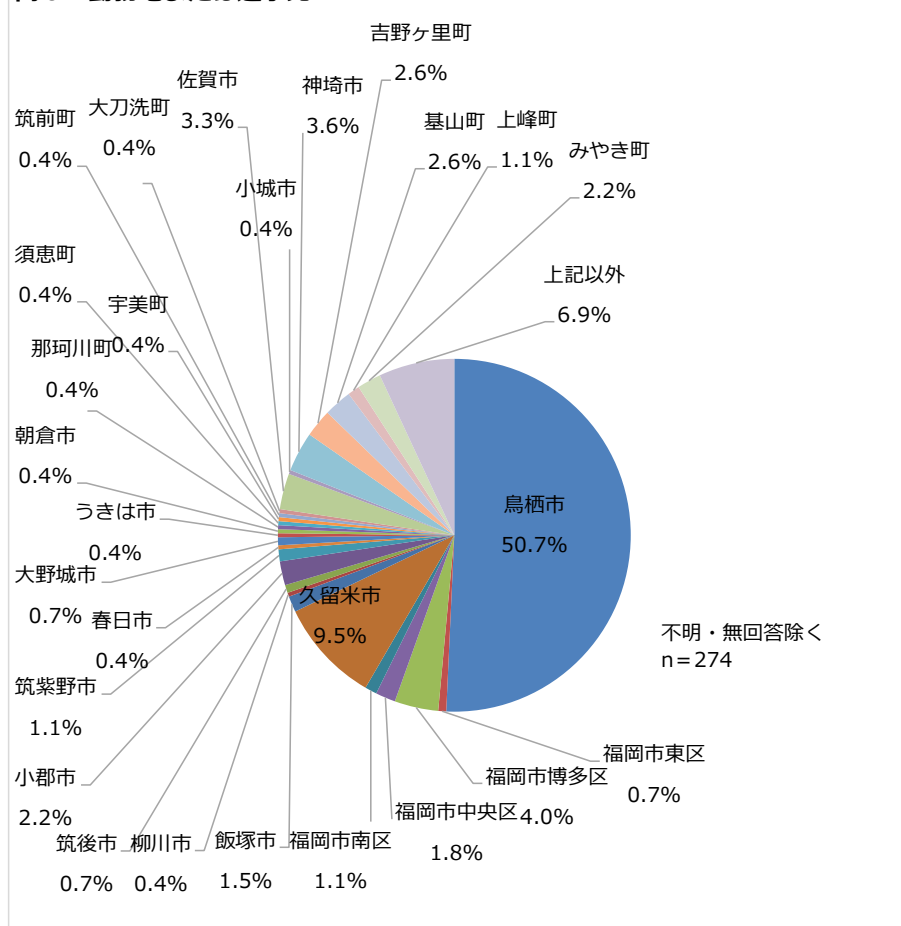
	福岡県（半径30km圏内の市区町）+県内市町	回答数	比率
1	福岡市東区	3	1.0%
2	福岡市博多区	14	4.5%
3	福岡市中央区	6	1.9%
4	福岡市南区	5	1.6%
5	福岡市西区	4	1.3%
6	福岡市城南区	1	0.3%
7	福岡市	6	1.9%
8	久留米市	34	10.9%
9	柳川市	1	0.3%
10	筑後市	2	0.6%
11	大川市	2	0.6%
12	小都市	10	3.2%
13	筑紫野市	5	1.6%
14	春日市	2	0.6%
15	大野城市	3	1.0%
16	太宰府市	6	1.9%
17	うきは市	3	1.0%
18	朝倉市	2	0.6%
19	みやま市	2	0.6%
20	那珂川町	1	0.3%
21	筑前町	1	0.3%
22	大刀洗町	1	0.3%
23	大木町	2	0.6%
24	佐賀市	26	8.3%
25	唐津市	3	1.0%
26	多久市	2	0.6%
27	伊万里市	3	1.0%
28	鹿島市	3	1.0%
29	小城市	4	1.3%
30	嬉野市	4	1.3%
31	神埼市	5	1.6%
32	吉野ヶ里町	7	2.2%
33	基山町	12	3.8%
34	上峰町	2	0.6%
35	みやき町	8	2.6%
36	有田町	1	0.3%
37	大町町	1	0.3%
38	上記以外の市区町村	116	37.1%
a	有効回答者数（人）	313	
b	不明・無回答(人)	10	
	回答者数（人） a + b	323	

転入前の住所地在市区町村別に見ると、鳥栖市から半径30Km圏内の福岡県の市区町と県内市町で全体の「62.9%」を占めており、そのうち福岡県の市区町村が「37.1%」、佐賀県側が「25.9%」となっており、鳥栖市人口ビジョンにもあるように近隣市区町村からの転入が多い状況が継続している。

問6.勤務地または通学先

	福岡県+県内市町	回答数	比率
1	鳥栖市	139	44.4%
2	福岡市東区	2	0.6%
3	福岡市博多区	11	3.5%
4	福岡市中央区	5	1.6%
5	福岡市南区	3	1.0%
6	久留米市	26	8.3%
7	飯塚市	4	1.3%
8	柳川市	1	0.3%
9	筑後市	2	0.6%
10	小郡市	6	1.9%
11	筑紫野市	3	1.0%
12	春日市	1	0.3%
13	大野城市	2	0.6%
14	うきは市	1	0.3%
15	朝倉市	1	0.3%
16	那珂川町	1	0.3%
17	須恵町	1	0.3%
18	宇美町	1	0.3%
19	筑前町	1	0.3%
20	大刀洗町	1	0.3%
21	佐賀市	9	2.9%
22	小城市	1	0.3%
23	神埼市	10	3.2%
24	吉野ヶ里町	7	2.2%
25	基山町	7	2.2%
26	上峰町	3	1.0%
27	みやき町	6	1.9%
28	上記以外	19	6.1%
a	有効回答者数(人)	274	
b	不明・無回答(人)	49	
	回答者数(人) a + b	323	

問6 勤務地または通学先



勤務地または通学地は鳥栖市内が半数を占めている。次いで、福岡県の市区町で「23.3%」、佐賀県の市町は「13.7%」となっており、本市と福岡県との経済的な結びつきの強さを裏付ける結果となっている。

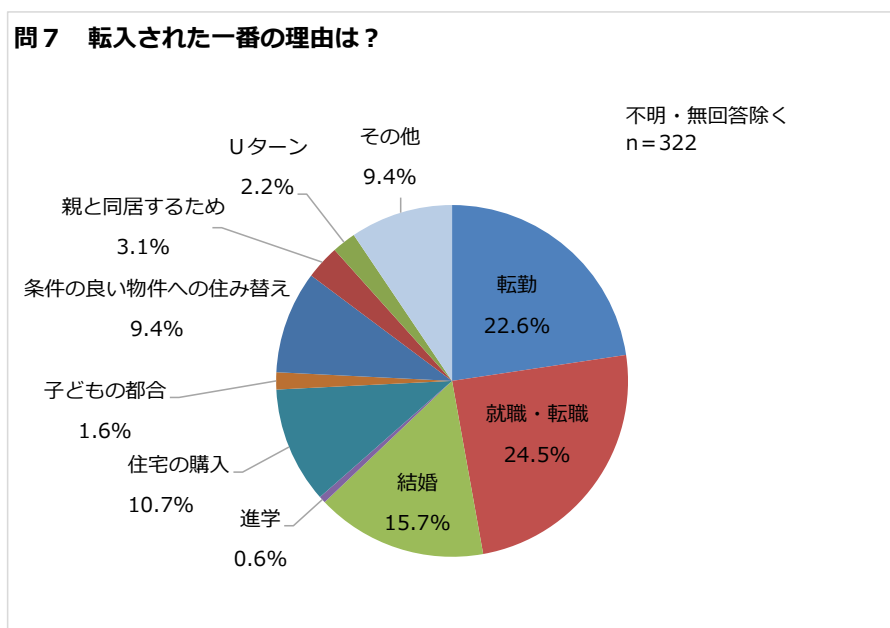
問7.転入された一番の理由

		回答数	比率
1	転勤	72	22.4%
2	就職・転職	78	24.2%
3	結婚	50	15.5%
4	進学	2	0.6%
5	住宅の購入	34	10.6%
6	子どもの都合	5	1.6%
7	条件の良い物件への住み替え	30	9.3%
8	親と同居するため	10	3.1%
9	Uターン	7	2.2%
10	その他	30	9.3%
a	有効回答者数(人)	322	
b	不明・無回答(人)	1	
回答者数(人) a + b		323	

問7-②.「その他」の主な内容一覧

	回答数	
1	離婚	2
2	親や家族の事情のため	7
3	住宅の事情	3
4	仕事に関連するもの	2
5	知人と同居・同棲のため	2
6	転勤と結婚	2

問7 転入された一番の理由は？



転勤、就職・転職など、仕事に関することが転入理由の半数近くを占めている。次いで、結婚、住宅の購入と続いており、市内に雇用の場があることをはじめ、結婚による新生活の拠点として若い世代に選ばれていることが転入者獲得につながっているものと考えられる。

問8.鳥栖市を選んだ理由は何ですか？（複数回答可）

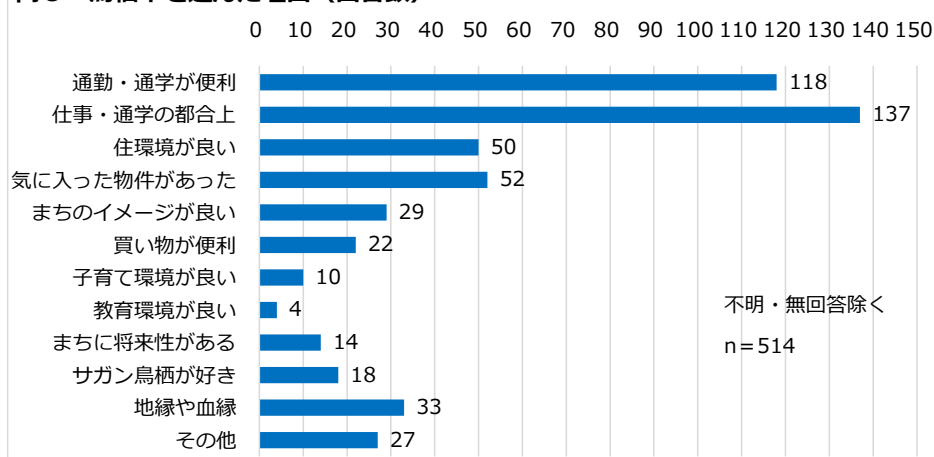
	回答数	比率
1 通勤・通学が便利	118	23.0%
2 仕事・通学の都合上	137	26.7%
3 住環境が良い	50	9.7%
4 気に入った物件があった	52	10.1%
5 まちのイメージが良い	29	5.6%
6 買い物が便利	22	4.3%
7 子育て環境が良い	10	1.9%
8 教育環境が良い	4	0.8%
9 まちに将来性がある	14	2.7%
10 サガン鳥栖が好き	18	3.5%
11 地縁や血縁	33	6.4%
12 その他	27	5.3%
a 有効回答者数（人）	514	
b 不明・無回答（人）	11	
回答者数（人） a + b + c	525	

※比率は有効回答数に占める割合

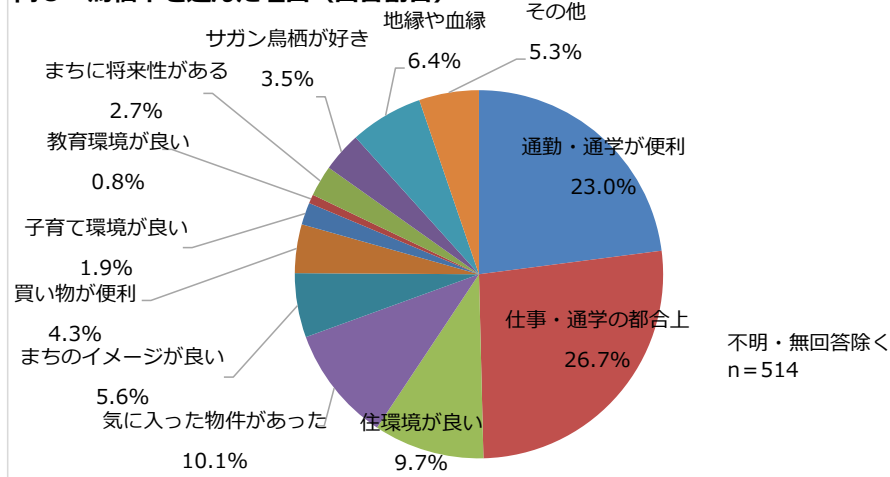
問8-②.「その他」の主な内容一覧

	回答数
1 知人と同居・同棲のため	3
2 仕事上の都合	4
3 親や家族の事情	6
4 住宅の事情	1
5 土地が安い	1

問8 鳥栖市を選んだ理由（回答数）



問8 鳥栖市を選んだ理由（回答割合）

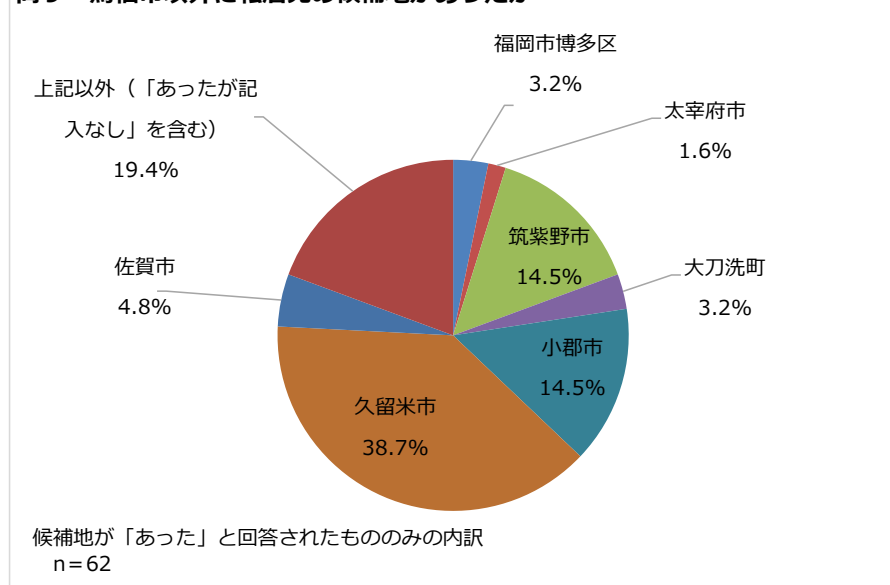


鳥栖市を選んだ理由は、「通勤・通学が便利」、「仕事・通学の都合上」で約半数を占めており、日々の通勤時の利便性や職住接近の住環境などが居住地選択時に重要視されていることが分かる。次いで、「住環境が良い」、「気に入った物件があった」、「まちのイメージが良い」などが比較的高いことから、仕事上の理由のみならず日々の暮らしの面においても一定の評価を得ていることが分かる。

問9.鳥栖市以外に転居先の候補地があったか

	福岡県（市+半径30km圏内）+県内市町	回答数	比率
1	なかった	164	72.6%
2	福岡市博多区	2	0.9%
3	太宰府市	1	0.4%
4	筑紫野市	9	4.0%
5	大刀洗町	2	0.9%
6	小郡市	9	4.0%
7	久留米市	24	10.6%
8	佐賀市	3	1.3%
9	上記以外（「あったが記入なし」を含む）	12	5.3%
a	有効回答者数（人）	226	
b	不明・無回答(人)	97	
	回答者数（人） a + b	323	

問9 鳥栖市以外に転居先の候補地があったか



転入世帯の約4分の3は本市以外に転居先の候補地はなかったと回答されているが、「候補地があった場合」には、佐賀県内ではなく久留米市を中心とした福岡県側の近隣市が候補地の中心となっている。